

# なぴあ

公益財団法人長崎県国際交流協会 広報誌  
2026年3月発行 VOL.130



## 事業報告



団体ブースで海外の文化を体験



着物を着て茶道体験



フェアトレード商品の販売



民族衣装（サリー）の試着



団体ブースでの活動展示と交流

## 「第27回ながさき国際協力・交流フェスティバル」を開催しました！

2025年12月14日（日）、「第27回ながさき国際協力・交流フェスティバル」を長崎県庁で開催しました。当日は、国際交流や国際協力で活躍する30団体が活動展示や外国の手工芸品の販売などを行ったほか、会場には、着物・茶道の体験ブースや外国料理の弁当等の販売コーナーも設けられ、約2,300人の来場者で賑わいました。また、今年も、福岡出入国在留管理局にご協力いただき、ビザや在留資格などの外国人相談ブースを設置しました。ご来場、ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。



公益財団法人

長崎県国際交流協会

Nagasaki International Association

〒850-8062 長崎市出島町2番11号  
TEL 095-823-3931/E-mail nia@nia.or.jp  
[開館時間] 月～金曜日 9:00～17:30 ※祝日休館



公式 HP



Facebook



「日本とウクライナの友好を深める集い」が開催されました！

「第27回ながさき国際協力・交流フェスティバル」では、「しまばら半島国際交流クラブ」の企画により、「日本とウクライナの友好を深める集い」も開催されました。

イベントでは、長崎県立長崎鶴洋高校3年の相撲部員のエゴール・チュグンさん（ウクライナ・ミコライウ出身）と島原市在住のグリニェンコ・オレナさん（ウクライナ・スムイ出身）のトークがありました。



ウクライナについて話す（右から）松下さん、オレナさん、チュグンさん、高橋監督

「しまばら半島国際交流クラブ」では、2022年のロシアによるウクライナ侵攻を機に、オレナさんとその母国を自分たちにできることで支援しようと、様々な取り組みを進めてきました。

そのような中、代表の松下英爾さんは、長崎県立長崎鶴洋高校に留学中のエゴール・チュグンさんが同校の相撲部員として、10月の「長崎くんち」で相撲部・高橋修監督と共に「弓取り」を立派に披露したことを知りました。

松下さんは、オレナさんとチュグンさんが会う機会を作るとともに日本とウクライナの友好が一層深まることを願う機会をぜひ作りたいと今回、「ながさき国際協力・交流フェスティバル」の中でのトークイベントを企画しました。

トークイベントは、お二人とも大ファンだという、大相撲・九州場所で優勝した「安青錦関」についての話題から始まり、オンラインや電話で聞いたお二人の家族の様子や、ウクライナの厳しい現実についての報告もありました。最後は、ウクライナへの一日も早い平和の訪れを願い、松下さんのギター伴奏で、ウクライナ国歌を会場の皆さんと一緒に歌いました。

当日は多くの来場者の方にご参加いただきました。



参加者とともにウクライナ国歌を歌うオレナさんとチュグンさん



当日のフェスティバル会場の様子

## CIR 李 卉 (リ キ) さんにインタビューしました！

長崎県国際課の李 卉 (リ キ) CIR が1年間の任期を終えて、2026年3月で退任します。中国の文化をたくさんの方々に伝えていただきました。当協会の語学講座「CIR (国際交流員) と話そう！」も、毎回、大好評でした。今回は、李 卉 (リ キ) CIR に、長崎での1年間の活動を振り返っていただきました。

### Q1. 国際交流員(CIR)として色々なお仕事をされた中で、一番思い出に残っていることはなんですか？

国際交流員の立場でおくんちを見学し、長崎の人々が何世代にもわたって大切に守り続けてきた伝統の力強さを、目の前で実感することができました。

曳物や傘鉾の迫力や、観客の皆さんが一体となって「もってこいもってこい」と盛り上がる応援に圧倒され、地域文化の深さに感動しました。また、準備に携わる方々の姿を知ることによって、おくんちが単なる行事ではなく、地域の誇りと絆を象徴する大切な文化であることを感じました。



長崎ランタン  
フェスティバル  
2026の旅

### Q2. 国際交流員 (CIR) として長崎県民の方々と関わる中で、学んだことはありますか？

長崎県民の方々と関わる中で特に印象に残ったのは、皆さんがとても積極的に外国文化に興味を持ち、新しいことに触れてみようとする前向きな姿勢です。知らないものに出会ったときに、まず「面白そう」「知りたい」と思ってくれる姿勢に何度も感動しました。イベントや講座では、文化や言語について熱心に質問して下さる方が多く、その好奇心と行動力にいつも励まされました。



韓国 CIR 李 常夏 (イ サンハ) さんと福江島の旅

### Q3. 李 卉 (リ キ) さんにとって「国際交流」「異文化交流」って、なんですか？

文化交流の醍醐味は、文化の違いを認識しながらも、その中にある共通点を少しずつ発見していく過程にあるのだと思います。

背景や価値観が異なる相手と向き合うと、最初はどうしても「違い」の方が目立ちます。しかし、対話を重ねていくうちに、お互いが大切にしている思いや似ている部分にも気づくようになります。その「違いから共通点へと橋をかけていく時間」こそが、文化交流が生み出す一番の魅力だと感じています。



「中国茶文化講座」(2025年11月)

李 卉 (リ キ) さん、1年間、ありがとうございました！



泉田 陸(いずみだ りく)さん

隊 次：2023年（令和5年）2次隊  
 派遣国：ベトナム社会主義共和国  
 職 種：言語聴覚士



ベトナムの一般情報(外務省のHPより引用)  
 面積：32万9,241平方キロメートル  
 人口：約1億30万人  
 首都：ハノイ  
 言語：ベトナム語  
 宗教：仏教、カトリック、カオダイ教 他

シン チャオ  
**Xin chào !**  
 (こんにちは！)

「言語聴覚士がベトナムでボランティアをした」。この文は「人類学者がパプアニューギニアでフィールドワークをした」という文と同じくらいイメージしにくいかもしれせん。

ベトナムは、東南アジアのラオスの東、中国の南にあります。首都ハノイには、建国の父ホーチミンが眠っているホーチミン廟やパズルの名前の元になった「ハノイの塔」などがあり、観光地としても知られています。他には、香り豊かなベトナム料理のフォーやバインミー、民族衣装のアオザイ、とんでもない数のバイクなどが有名ですね。

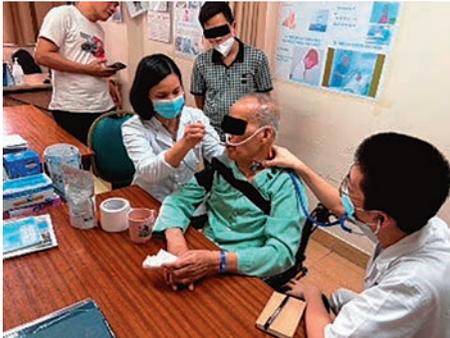
厚生労働省長崎労働局の集計（令和6年10月末時点）によると、長崎県内で2,959人のベトナム人が働いており、外国人の中で最も多いそうです。

また、長崎とは「アニオー姫」の物語でもつながりがあり、意外と私たちにも身近な国なんです。

言語聴覚士は、ことばによるコミュニケーションに問題がある方に専門的サービスを提供し、自分らしい生活を構築できるよう支援する専門職です。また、摂食・嚥下の問題にも専門的に対応します。（日本言語聴覚士協会ウェブサイト「言語聴覚士とは」より引用）

私はハノイの国立老年病院に配属され、ベトナム人の言語聴覚士と一緒に患者さんに対するリハビリを2年間行いました。もちろん、話をする練習はベトナム語、食べる練習はベトナムの食べ物を使って行いました。日本での経験をそのまま活かすことはできないという状況でしたが、毎日毎日、同僚と一緒に仕事をしていくことで、患者さんとのなんとなくの意思疎通が成り立っていきました。

活動の中で、配属先の同僚に特に喜んでもらったことは、内視鏡を使って飲み込む力を確認する検査の体制構築でした。日本では一般的ですが、ベトナムではまだマイナーです。日本での経験を元につつ、この病院で実施可能な体制をみんなで模索しました。私自身は様々な場面で妥協したり譲歩したと思っています。間違いなく、同僚も同じことを思っていたでしょう。それでも、なんとなく物事は進み、最終的に同僚と一緒に学会で発表し、国内に広くアピールすることもできました。2年間で、私も同僚たちも、お互いに少し新しい自信がついたかなと思っています。



日々のリハビリ風景(食べる練習)



たまにリハビリ室で鍋パーティー



帰国直前、同僚と学会発表

## 令和7年度助成金事業のご報告

長崎県国際交流協会では、県民の皆様の国際交流・多文化共生活動を支援するため、国際交流スタート支援事業・草の根国際交流支援事業の2つの助成金事業を実施しています。令和7年度は、以下の2団体へ助成を行いました。

### 「2026年ベトナム旧正月フェスティバル」

主催：在長崎ベトナム人協会

「在長崎ベトナム人協会」は、2019年に在ベトナム日本国大使館の指導のもとに設立されました。現在、当協会は長崎市・諫早市・佐世保市にそれぞれ支部を設立し、在長崎ベトナム人への生活・コミュニケーションの支援や様々な交流活動をしています。

このイベントは、旧正月に帰国できない在長崎ベトナム人が、新年のお祝いと感謝の気持ちを共有するとともに、長崎の人にベトナムのお正月を体験していただける機会として開催しました。

当日は、書初め体験、よさこい踊り、ベトナム餅づくり体験、ベトナム料理を味わえるブースなど、たくさんの参加者で賑わいました。お互いに異文化に触れ、ベトナムと日本、長崎への興味関心をさらに高める一日になりました。



ベトナムの伝統的な遊び「竹たたき」を楽しみました！

### 「身近な国際交流 五島の文化で国際交流をしてみよう！」

主催：特定非営利活動法人 福江島おんだけ振興会

「特定非営利活動法人福江島おんだけ振興会」は、2004年に設立されました。昨今の在住外国人の増加に対し、地域参加は十分でないため、わたしたちは、外国人と島民が体験活動を通じて自然と交流できる場を提供し、在住外国人支援の一助となる団体となることを目指して活動しています。

イベントには、五島市内の工場で就労しているミャンマー人の方と、日本語学校に通うベトナムからの留学生が参加し、日本人参加者と一緒に伝統的な製法による椿油搾油（さくゆ）を体験しました。椿油の搾油は一人では出来ない共同作業であるため、自然と参加者同士の交流が生まれました。搾油体験の間には、自分の国での油の利用方法などを紹介しました。

搾油体験の後は、出来立ての椿油で揚げたポテトチップスを試食したり、参加者が持ち寄った蓮茶やベトナムコーヒーを飲みながら、楽しく意見交換を行いました。

※搾油（さくゆ）……油をしぼりとること。



椿の実を臼と杵でつぶす搾油作業



つぶした椿の実を水の中に入れる作業

令和8年度助成金事業の申請団体を募集しています！

詳細は次ページの「お知らせ」をご覧ください。

## お知らせ

### 令和8年度助成金事業の申請団体を募集しています！

長崎県国際交流協会では、長崎県内の民間団体が行う多文化共生や国際交流等を支援するため、2つの助成金事業を実施しています。国際交流や多文化共生などに取り組む非営利団体に加え、多文化共生に取り組みたい企業にも助成を行っています。要件がありますので、右のQRコードからご確認ください。



QRコード

#### 国際交流スタート支援事業

- 支援対象：国際交流事業等を初めて行う民間団体
- 支援概要：イベントや講座の企画・運営をサポートいたします。対象経費を100%補助（上限10万円）

#### 草の根国際交流支援事業

- 支援対象：国際交流の経験がある民間団体、多文化共生に取り組みたい企業
- 助成概要：多文化共生事業については、対象経費を100%補助（上限10万円）、  
その他国際交流・国際理解事業については対象経費の1/2補助（上限10万円）

\*本助成金事業の実施は、長崎県の令和8年度予算の成立が前提となります。

#### 「長崎県外国人相談窓口」の営業日時のお知らせ

外国人の在留資格、健康・福祉の生活相談など、長崎に住む外国人や、外国人の日本人関係者が相談することが出来ます。電話通訳を利用し、22の言語で対応可能です。

営業日時：月曜日～金曜日、午前9時～午後4時  
TEL：095-820-3377 Eメール：soudan@nia.or.jp  
休み：土曜日、日曜日、祝日、12/29～1/3  
場所：長崎県国際交流協会内（長崎市出島町2-11）

#### 多言語冊子の無料配布

外国人に関わる皆さまに、3種類の冊子を、日本語、英語、中国語、韓国語、ベトナム語で無料配布しています。お気軽にご連絡ください。

#### 《無料配布している多言語冊子》

- ★ながさき生活ガイドブック
- ★知っておこう！災害が起こるその前に！
- ★病院に行く時に使う本

#### CIR（国際交流員）と話そう！

水曜日の午後4時～5時まで、国際交流員と交流しませんか？  
韓国、中国、オーストラリア出身のCIRが皆さまをお待ちしています。外国語が話せなくても大丈夫です！

予約不要、無料。  
詳細は、当協会のHPでご確認ください。

場所：長崎県国際交流協会（長崎市出島町2-11）  
問い合わせ：（公財）長崎県国際交流協会  
TEL：095-823-3931 Eメール：nia@nia.or.jp

#### 賛助会員募集中

私たちは、「世界の人々と共生し交流する活力ある地域づくり」を趣旨とし、日本人・外国人がお互いに理解・助け合いながら協働・共生する地域づくりに貢献できるよう活動しています。

安定した運営を確保するためにも、私たちの活動の趣旨に賛同し、支援して下さる個人・企業・管理団体・民間団体を募集しています。

#### 年会費

個人会員：1口 3,000円  
法人会員：1口 10,000円  
※詳しくは、長崎県国際交流協会  
にお問い合わせください。

#### ご支援いただいている賛助会員

安達株式会社  
扇精光ホールディングス株式会社

ヤナセ産業株式会社  
長崎県青果移出商業協同組合

東興産業株式会社  
個人会員22名